

23区唯一の最終処分場を次世代に残すために 今日からできる 簡単なごみの減量

① 雑がみを分別して ごみから資源に



燃やすごみの中に
約**13%**含まれている紙類
分別すると…
1人1日約**58g減**
年間で
約**11,008t**
のごみが削減できます。

【雑がみとは】

家庭から排出される古紙のうち、新聞、雑誌、段ボールのいずれの区分にも入らないものをいいます。例えば…
・お菓子や食品などの箱 ・ティッシュの箱 ・紙袋 ・封筒
・包装紙 ・コピー用紙 ・トイレットペーパーの芯などです。
とても身近ですが、ついごみ箱に捨ててしまいがちなものばかりです。雑がみは資源の日に古紙として出せます。
ぜひ、資源への分別にご協力ください。

2030年までにすべての人が豊かになるために掲げられた世界共通の目標SDGsでは、ごみの減量やリサイクルに取り組むことが求められています。皆さんが何気なく捨てている燃やすごみは、清掃工場で焼却されても灰となって残り、江東区南部にある23区唯一の最終処分場へ運ばれます。しかし、この最終処分場は、あと50年でいっぱいになると言われています。1日でも長く使い続けるため、ごみ減量にご協力ください 固 清掃リサイクル課 ☎3647-9181、FAX5617-5737

最終処分場の延命化へ ごみ減量にご協力をお願いします

江東区にある「中央防波堤外側埋立処分場」および「新海面処分場」は、23区で唯一の最終処分場です。23区内にはほかにこのような場所を確保することが難しい中、最終処分場の延命化はとても重要です。



▲区の南部に位置する最終処分場

② 生ごみを捨てる時は ひとしぼり



生ごみの約**80%**は水分です。
捨てる前のひとしぼりで
約**10g**軽くなり、
区全体で行われるようになれば
年間で約**985t**
のごみが削減できます。

フードドライブで 食品ロスを削減

【フードドライブとは】

家庭で余っている食品をフードバンク団体を通じて、広く地域の福祉団体や施設などへ提供する活動です。食品ロスの削減には、「必要な分だけ買うこと」などが大切ですが、どうしても家庭で余ってしまった場合は、ぜひフードドライブをご利用ください。



国民1人あたり

約**132g**の食品が

毎日捨てられています*

*農林水産省・環境省
「食品ロス量平成29年度推計値」

清掃リサイクル課・無印良品東京有明で常設回収



▲無印良品東京有明の食品回収ステーション



フードドライブ常設回収窓口

回収窓口	受付時間	住所	休業日
清掃リサイクル課	8:30~17:15	東陽4-11-28 区役所隣防災センター6階4番	土・日曜、 祝日、 年末年始
無印良品東京有明	10:00~20:00 ※変更になる場合があります	有明2-1-7 有明ガーデンモール&スパ1階	不定休

【持ち込み可能な食品】

○缶詰 ○インスタント・レトルト食品(冷凍・冷蔵品は除く)
○乾物・乾麺 ○嗜好品(お茶・コーヒーなど) ○飲料(アルコール類は除く) ○調味料
※未開封で包装や外装が破損していないもの、賞味期限まで**2か月以上あるもの等**、持ち込み食品の条件があります。詳細はお問い合わせいただくか、区ホームページをご覧ください。 ▲区ホームページはこちら



掲載している情報は令和2年12月28日時点のものです。最新の情報はお問い合わせください。